

～安全航行のチェックポイント～

マリン セーフティ ガイド



漁船・遊漁船編

海難ゼロへの願い!

海上保安庁





漁船のチェックポイント

出漁前

- ☐ 運航計画をたてる
- ☐ 無線の装備、携帯電話等連絡体制の確保
- ☐ 気象、海象情報の入手
- ☐ 船体、機関の点検
- ☐ 法定書類、法定備品の確認
- ☐ ライフジャケットの着用



航海中

- ☐ 見張りの励行
- ☐ 海上交通ルールの遵守
- ☐ 自動操舵の使用に注意
- ☐ 飲酒運航の防止
- ☐ 居眠り運航の防止
- ☐ ライフジャケットの着用



操業中

- ☐ 見張りの励行
- ☐ 海上交通ルールの遵守
- ☐ 天候の急変に注意
- ☐ 無理のない操業の実施
- ☐ ライフジャケットの着用



遊漁船のチェックポイント

- ☐ 業務規程により示される事項を厳守していますか。
- ☐ 気象・海象情報を把握していますか。
- ☐ 利用者の数、瀬渡し・遊漁場所、運航経路、帰航予定時刻など連絡責任者に連絡していますか。
- ☐ 危険な磯釣り場ではありませんか。
- ☐ 磯釣り中もライフジャケットを着用するよう指示しましたか。
- ☐ 遊漁に関するルール、マナーを周知しましたか。
- ☐ 撤収時刻の確認はしましたか。
- ☐ 海中転落時の救助措置は万全ですか。
- ☐ 瀬渡し後、付近で待機しているか、また定期的に見回りしていますか。
- ☐ 帰航時、釣り客が全員撤収していることを確認しましたか。



(平成16年の値は、全て平成17年1月14日現在の速報値です)

海難統計

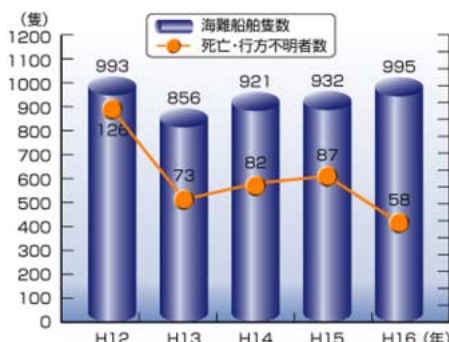


図1 漁船の海難船舶隻数及び死亡・行方不明者数の推移

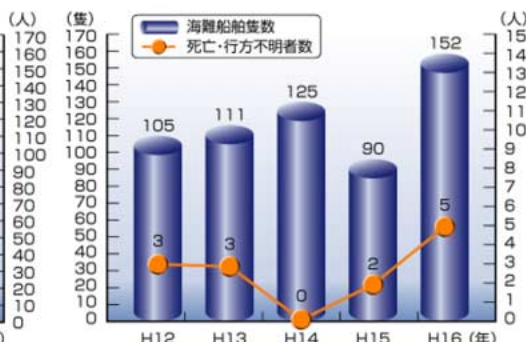


図2 遊漁船の海難船舶隻数及び死亡・行方不明者数の推移

■衝突が4割以上!

種類別	漁 船	遊漁船
第1位	衝突 40%	衝突 41%
第2位	転覆 9%	乗揚 13%
第3位	乗揚 8%	浸水 10%

表1 漁船及び遊漁船の海難種類別上位3位 (平成16年)

■見張り不十分など、人為的なミスが多い!

種類別	漁 船	遊漁船
第1位	見張り不十分 33%	見張り不十分 36%
第2位	操船不適切 8%	機関取扱不良 7%
第3位	機関取扱不良 6%	操船不適切 6%

表2 漁船及び遊漁船の海難原因別上位3位 (平成16年)

海難事例

衝突【原因:見張り不十分】

漁船A丸(9トン、5名乗船)は、漁場に向け航行中、視界不良であるにも関わらず見張りを怠り、ただ漫然と航行し、接近する起重機船に気づかず衝突し、船首ブルーワークを大破した。起重機船側も見張りを怠っていた。なお、幸い両船乗組員に死傷者はなかった。



乗揚【原因:居眠り運航】

一本釣り漁船B丸(19トン、4名乗船)は、イカ釣漁を終え、帰港中、港まで3海里となったのをレーダーで確認した後、船長が自動操船で速力12ノットのまま居眠りし、港内の防波堤に乗揚げ横転した。海難の衝撃で燃料のA重油約9キロリットル弱が海上に流出した。乗組員に死傷者はなかった。



ミニボート危険がいっぱい!

ミニボートって?



平成15年11月に免許や船舶検査が不要な船舶(以下、ミニボート)の範囲が拡大されました。

ミニボートの範囲は次の要件を満たす船舶です。

- 1 船の長さ3m未満
- 2 推進機関の出力が1.5kW未満(約2馬力)
- 3 直ちにプロペラの回転を停止することができる機構を有する船舶その他のプロペラによる人の身体の障害を防止する構造を有する船舶

ミニボート安全の基本!



危険その1 シロウト

ミニボートは免許の要らない船舶なので、海や船、海上交通ルールなどをまったく知らなくても船長になれますが、知らないまま、ルール・マナーを守らずに運航することは、自船及び他船に危険をもたらします。

基本その1 海のルール、マナーを守る!

海上交通
ルール



危険その2 転覆

ミニボートは車にも簡単に積むことができ、コンパクトに構成されている反面、洋上では、手漕ぎボートと同様に気象(波・風)、他船の航走波の影響を受けやすく、転覆して海上に投げ出される危険性が高いです。

基本その2 風が強いとき、波が高いとき、不安なときは、はっきりと出航中止!



危険その3 衝突

ミニボートはそのコンパクト性から、他の船舶からミニボートの存在を把握しにくく、夜間等の視界が制限されているときにおいては、衝突される危険性がより高くなります。

基本その3 視界のすぐれない早朝、夜、霧のときはボートに乗らない!



危険その4 漂流

ミニボートは推進機関が小さいことから、潮流に流され海岸へ戻れなくなる危険性があります。

基本その4 大勢で乗船したり、海岸から遠く離れるような航行はしない!

携帯電話

以上のような危険性から

- 1 適切な見張り
- 2 ミニボートのそばを航行しない
- 3 ミニボートを見つけたら早めの避航

を心がけましょう。

ライフ
ジャケット





自己救命策確保 3つの基本!



携帯電話などの
適切な連絡手段の確保



ライフジャケットの常時着用



海のもしもは118番

column

知っていますか?「SAS」

column

SASとは、睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome) という重度の睡眠障害の一群で、気道の閉塞などが原因で、睡眠中に1回当たり10秒以上、何回も呼吸が止まり、血液中と脳で酸素量が減少し、二酸化炭素量が増加する病気です。

いびきや起床時の頭痛、日中の眠気や倦怠感などの症状があります。また、高血圧や脳卒中などの循環器疾患や、糖尿病などの合併症を引き起こすこともあります。

そのうえ、日中の眠気のために、交通事故や産業事故などを引き起こす可能性があります。

「もしや?」と思われたら早めに
専門医の診察を受けましょう。

※SASについては、船員災害防止協会HP関連サイト
<http://www.sensaibo.or.jp/general/senpaku.html>
をご覧ください。



どうしてライフジャケットを着るのですか？



漁業一筋35年
佐藤 誠剛さん

若いころ落ちたからね、危険と隣あわせだし。やっぱり着た方がいいと思う！



漁業一筋60年
荒内 善二さん

やっぱあれだわ、着て歩くもんだわね。それだけは守って歩いた方が自分のためにいいんだからね。



佐藤 誠剛さん
(65歳)

なんぼいってもつけない人はつけない。だけど、つければ一番いいことですよ。



吉松 栄一さん
(69歳)

なにせ漁師だったら、自分で自分の身を守らなきゃ。

**自分のために！家族のために！仲間のために！
ライフジャケットを着用しましょう。**

第一管区海上保安本部 漁船海難防止CMより